

物資の救援のパターン化とそのロジスティクス

伊藤 秀行¹・ウイスニー・ウイセットジンダワット²、秀島栄三³

¹ピーアイ物流企画

E-mail: pi0001@h3.dion.ne.jp

²名古屋工業大学助教

³名古屋工業大学教授

2011年の東日本大震災の折、過去の大きな災害時同様に、必要な救援物資が届かないことが問題になった。物資支援活動にボランティアとして参加し、必要とする被災者に物資をセット化して送る作業や現地での配布に立ち会ったり、NGOその他関係組織へのインタビューも行ったりした結果、下記の知見を得た。

(1) マズローの理論も参考にし、救援物資のあり方について、時間軸で整理すれば4つのパターンかできる。

(2) 物資のパターンごとに異なるロジスティクスの仕組みがある。

(3) このような作業はロジスティクスの専門的観点からも検討し、仕組みをデザインする必要がある。

(4) 物資の中には、災害発生時に必ず必要になる物があり、平時から準備の体制が確立できれば 災害時の物資混乱の解消の一つの方法になりうる。

これらについて報告する。

キーワード：救援物資，ロジスティクス，NGO